

会議録様式

審議会名	令和6年度第1回杉戸町立図書館協議会
開催日時	令和6年5月21日(火) 午後2時00分～4時00分
開催場所	杉戸町生涯学習センター 集会室1、2
会議の議題	(1) 令和6年3月～4月の運営報告について (2) カルスタすぎとの運営方法について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開(公開の場合傍聴者数6名) (非公開の場合理由)
出席委員氏名 (敬称略)	正司 顯好、小山 裕之、千葉 耕平、塩川 敬子、濱田 幸子、齋藤 伸夫
審議の概要	<p>審議の概要</p> <p>(1) 令和6年3月～4月の運営報告について</p> <p>委員)貸出冊数が昨年4、5月と比較すると減っているが。 事務局)子供の人数が減少していることもあり、児童書の貸出冊数が減少している。コミュニティセンターがオープンし、新しい本が配架されている。センターの立地が良いので、需要のある本を今後も配架したい。貸出状況の動向を注視していきたい。</p> <p>委員)電子書籍の利用実績は。 事務局)ホームページ開設により、徐々に貸出冊数は増えている。さらに周知を行っていきたい。今後、電子書籍の特集ページの見直しは検討している。</p> <p>(2) カルスタすぎとの運営方法について (図書館)</p> <p>委員 1) ・守谷市の図書館は立派だが、杉戸町も同じ運営を目指すことは難しい。杉戸町には杉戸町に合った図書館のあり方があるのではないか。 ・図書館職員の人材育成を行うには、継続的な研修を行う必要がある。研修スキルがあるほうが良い。町の直営でどこまでできるのか。 ・図書館の維持には多くの予算が必要となる。図書館維持や図書館資料のデジタル化のノウハウは民間にあるのではないか。</p> <p>委員 2) ・今後、一番大事なのは図書館長の資質と職員の能力である。館長はマネジメント力、職員はレファレンス力とコミュニケーション力を求める。 ・来館型と非来館型のハイブリット図書館を目指してほし</p>

い。電子図書館においては、利用者におすすめの本を提案するような、町民を引っ張っていくくらいの積極性を求める。

委員 3) ・ 今後役場庁舎の建替え等も予定される中、少ない予算の取り合いが想定される。また、教育分野以外、福祉分野等への予算も大事である。費用においては、資料の充実をお願いしたい。

・ コミュニティセンターの図書室は、まだ図書の数が少ない。しかし目新しい図書が多く、今後に期待したい。

委員 4) ・ 館長、職員は司書有資格者であってほしい。また、図書館勤務経験がある職員を希望する。研修の機会を確保してほしい。

・ デジタル化が進むことで子どもの目（視力低下問題）が心配である。デジタル化の流れがどこかで変わることもあるかもしれないため、時代の流れを予想した予算取りが必要ではないか。

・ 学校司書を配置してほしい。

・ 町全体に図書館の重要性を認識してもらいたい。協議会で図書館の重要性を訴えかけることが、図書館の発展につながると思う。

委員 5) ・ 町民が平均して居心地が良いと思える図書館が良い。そのためには、各世代の意見をバランスよく取り入れることが大事。20歳前後の人にはキッチンカー等があるおしゃれな空間で本が読める、年齢が上の方は野外のテラス席で静かに読書に集中できる等があれば良いと思う。

委員 6) コミュニティセンターは賑わい創出の拠点としてスタートしている。駅に近い立地のため、多くの人に活用してほしい。

事務局) ・ 館長の資質に重きを置いていることはよく分かった。

・ 今後大規模はエアコン修繕を予定している。町民に快適な図書館を利用してもらうよう注意を払って運営していきたい。

・ 選書は図書館総合支援企業の自動選書を利用し、選書の時間短縮を図っている。一方、画一的な選書になってしまうことがデメリットとして挙げられる。

・ 資料購入の予算増額の要望は行っているが町の事情があり難しい。決められた予算の中で工夫して行っていきたい。

事務局) 本日の委員皆様の意見をまとめ、来月末までには答申案を送付したい。答申案に対する意見を基に、7月開催の協議会に臨みたいと考えているので、ご協力を賜りたい。